

# 磐城時報

日刊 十月八日  
福島縣石城郡平町組町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
福島縣石城郡平町組町十四  
發行所 磐城時報社  
電話 二一四  
廣告料 一行十四字 一月五拾錢  
印刷 一行十四字 一月五拾錢  
日刊（日曜、祭日）休刊

## 共產黨全國會議派 一網打盡に檢舉さる

### 石城では星野二郎

#### 十七日午後五時記事解禁

共産黨第五次檢舉即ち日本共産黨及日本共産青年同盟に關する事件は昨年十月三十日伊豆熱海温泉に於て全國から代表者が集り擴大中央委員會を開き重要協議をなした事をその筋で探知し同時に新聞記事掲載を差止め捜索を續けてゐたが一段落がついたので十七日午後五時記事解禁された。

今回檢舉された共産黨は全國農工は昨年相馬郡福浦村の干拓小民組合中の共産的色彩を帯びた作事に乘じ巧みに赤化を計つ全國會議派(革命的反對派)で本た嫌疑濃厚で當時干拓小民組合に於ても相當關係者があり昨の消費組合事務所に勤めてゐる年十一月十四日未明一齊に檢舉した星野二郎の情婦西牧勝枝(四日前五時暴風雨の真最中特高係主任小野寺警部補以下數名の高等係刑事が干拓三丁目蛇の目すし方を包圍し全國農民組合聯合會石城支部の常任幹事をしてゐた星野二郎(二五)を檢舉自宅捜索を行つて引上げた、その後警察部特高課から係員が平署に來り星野を嚴重取調へ十二月になつて樋口刑事が身柄を福島刑務所に護送した。星野二

## 星野二郎の情婦は 元平郵便局員

### 磐高女十七回卒業生

相馬郡福浦村干拓小作組合の消費組合事務所に勤めてゐた星野

二郎の情婦西牧勝枝(二三)は湯本町宇三出身磐城高等女學校第十七回卒業生で卒業後昭和五年九月平郵便局に勤務し爲替係を勤めてゐる頃から星野と知り合ひ昨年四月母と折合ひが悪いといふのが理由で平局を退き相馬郡に赴いたものである。

## 出來ぬ神谷 官僚的で不人情な 平町役場首脳部

### 病める失業者 町長と助役を恨む

平町字長橋町三五木貨宿小島館ひ出でた、助役、町長は協議しに滞在してゐる安達郡生れ須藤た結果かゝる説明は從來例がな政榮(三〇)は昨年十月病氣のたいたいふの理由に之を拒絶し炭礦を解雇されて以來住所をたので同人は全く窮乏の足で失ひ小島館に身を寄せてゐるも平警察署人事相談所に小林警部補を訪問し病氣のため所持金補を話し話した處小林警部補は非常同情し電話で酒井賣藥を買つて服用する事も出来ぬので當て貯金してゐた昭和十一年拂出しの十圓の据置郵便貯金の拂戻方について平郵便局を訪れた處、据置貯金は居住町村長の貧困であるといふ證明がなければ中途で拂出さぬ規則になつてゐる事が判り七月午後平町役場を訪れ職員を通じ酒井上如何ともし難い術など同人もそ

## 大野の火事 消防手負傷

### 十六日午後十一時頃石城郡大野村原戸田甚太郎方から火

十六日午後十一時頃石城郡大野村原戸田甚太郎方から火が出た。住家非住家各一棟を全焼して十七日午前零時頃鎮火した。その際消防に盡力中の大浦村消防組員二名は輕傷を負つた。損害一千圓原因長男義雄(二二)が夜學が原因で入浴した風呂場の焚火

## 不人情問題について 各方面の非難と 町首脳部の辯解

右問題について各方面の意見を聞くに大體左の如く町役場の態度に非難的の言辭をもらしてゐる。小林警部補談 須藤政榮は病氣の失業者である事が判り木貨宿の支拂ひに困つてゐるといふ事なのでその證明方を酒井助役に依頼した。規則にないといふので拒絶された。規則にないといふのは無理に證明してくれといふ依頼が無理なものでした。となつたが残念であつた。某教育者談 最近の平町役場は官僚的になつて來たといふ非難はよく耳にする處だが、これ程まで規則一點張りだと思はなかつた。警察署で大體の證明が出れば役場として證明を與へても差支へないと思ふ。町民の便宜になる事でも餘計な事はせぬといふ不親切には呆れざるを得ない。云々 某共済委員談 貧困者救済といふ事には世を挙げて努力してゐる時期であり殊に最近では舊年末の關係もあり無名氏が百圓を寄附したとか、その他各方面から同情の寄附金がある今日平町役場のこの態度は實に不人情の極みであると思ふ。平町役場の面々と見られてゐる愛國婦人會、赤十字社等の關係者は最近虚榮の社交團體と見られてゐる。路傍に病人が倒れてゐても顔をそむけたり考の人ばかりの団体一名もないと言つても過言でないと思ふ。

## 政府拂下米 舊年末に間に合はぬ

### 濱三郡の分一萬俵

濱三郡における風水害救済の政慮してゐるが舊年末までには現府米拂下げに關しては既報購入物を受取るまでには行かないま者が直接代價を拂ふものは合計でも一週間に指令がある六千四百八十八俵の許可指令に接し見込みである。なほ今度拂下申た外町村罹災救助基金を以て購請中の政府米は四月までの食糧入する分及び縣の金を以て貸附にして合計二萬俵であるが、賒する分等は未だ拂下げ指令に與ら支出する金は結局約六萬圓に達する。濱三郡の分は三分七厘の見込である。

## 警炭の一偉觀

### 淺野紀念會館竣工 近々盛大な開館式

警炭炭礦全従業員三千餘名が故石城郡植田町を中心に出田、上野野、田人、川部各村の特産物を集めて淺野紀念會館を竣工した。開館式は十月二十五日(日)午後二時、植田町公民館で盛大な開館式を挙げる事となつた。

## 蒟蒻暴騰 植田地方好況

十月内外の相場であり同地方農家は蒟蒻高と共に蒟蒻粉の高價に俄に好景氣を示してゐる。

▲新年宴會が始まるので多忙なため詳細は調べなかつたが貯金通帳の住所は好間村となつてゐたので一時平町の木貨宿に來たものと誤解し、從來例もなかつたので拒絶する事にした。然し平局から紹介があれば事實調査の上解答はする。

▲平町死亡數 平町昨年度の死亡者は合計四百一十一名で一昨年より三十二名の減少、火葬二百五十七名、土葬百五十四名である。

**外科**  
**專門**  
**X光線科**  
 上田外科醫院  
 電話一二九番

**和洋銅鐵金物問屋**  
**釜屋商店**  
 諸橋久太郎  
 電話九九番

**耳鼻咽喉科 專門**  
 平町田町七十番地  
**山内醫院**  
 醫學士 山内亨吉  
 電話六九一番

**家傳秘法 腫物湯** のんで効く  
 はれ物の妙薬  
 主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ  
 ●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前後  
 効一●等●よし  
 ◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き  
 痕を残さず美容上最適の治療劑なり  
 定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢  
 特約店 平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店  
 植田町 松本薬店 富岡町 莊野薬店  
 湯木町 岩瀬屋薬店  
 腫物湯 製粉所 茨城縣下孫 磯野健生堂

内臓外科  
 泌尿器科  
 昭和七年七月  
 平町新川町十九番地  
**木村病院**  
 電話一六四番

**廣告**  
 新任外科部長  
**内科學士來任**  
 七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス

**吸入用酸素** 純度 99%  
 度量度  
 モノサシ  
 マス  
 ハカリ  
 秤ノ取緒・鍍糸・修復致シマス  
**關内藥局**  
 電話四〇番

**專門 内科一般**  
 内科ハ何デモ診療致マス  
 呼吸器病バカリデハアリマセン  
 平町南町六五改(電話一八一番)  
**川井内科診療所**  
 醫學士 川井重子  
 女醫 川井安子

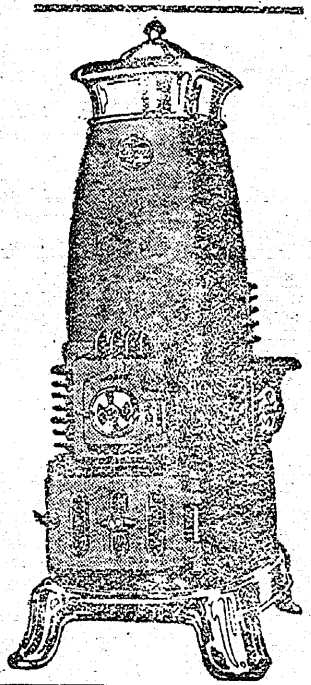
心安積蓄 利低通融  
**三幸無盡**  
 許免臣大蔵大  
 社會盡無用信本湯  
 番七四話電

**腸胃** 専門 内科  
 十二指 腸胃病  
 婦人病 淋病  
 皮膚病 専門  
 院醫科腸胃村松  
 【番七〇一話電】町南町平

大蔵省允許  
**無盡**  
 共済共宗  
 誠信堂

**生花教授**  
 家元龍生派池坊  
 生花、盛花、投入、自然  
 營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます  
 平町仲町三  
**華道教授 天水庵 岡田華悦**

四海は常春  
 電話三七番へ 早速持参致します  
 平停車場前  
**阿部石炭店**  
 福祿ストーブ  
 福島縣一手販賣



**外科 一般外科 内臓外科**  
 性病科 X光線科  
 入院隨意(自炊の便あり)  
 元赤心堂病院跡  
**安齊外科醫院**  
 電話四七五